

北陸新幹線『上越妙高駅』開業記念 第69回全日本学生体操競技選手権大会

要 項

主催 全日本学生体操連盟

共催 上越市

主管 全日本学生体操連盟
新潟県体操協会

後援 新潟県
新潟県教育委員会
上越市教育委員会
公益財団法人新潟県体育協会
一般財団法人上越市体育協会
公益財団法人日本体操協会
新潟日報社
朝日新聞社

協賛 セノー 株式会社
株式会社 ササキスポーツ
シルクドソレイユ
アトムスポーツ
京王観光 株式会社
有限会社 アイシス
エレガントスポーツジャパン 株式会社

1. 期間

平成27年 8月18日(火)	会場セッティング・本会場練習
19日(水)	本会場練習、審判・監督会議、開会式
20日(木)	2部校団体総合選手権及び個人総合選手権予選
21日(金)	1部校団体総合選手権及び個人総合選手権予選
22日(土)	1・2部校個人総合選手権及び種目別選手権

2. 会場

会 場 リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
所 在 地 〒942-0063
新潟県上越市下門前446-2
025(544)2122

3. 参加資格

- (1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に平成27年度の「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」を済ませた者。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟(連盟登録)」が4回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学(短期大学、専修学校、高等専門学校を含む)の者。
- (3) 平成27年度の1部校で東日本・西日本学生体操競技選手権大会に出場した大学。※以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す。

なお、個人の出場枠は、平成26年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する(以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す)。

<男子>

・チーム 12校

平成26年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より

・チーム個人選手 42名

1～3位校 各5名

4～6位校 各4名

7～9位校 各3名

10～12位校 各2名

(含1部昇格校)

<女子>

・チーム 10校

・チーム個人選手 30名

1～3位校 各4名

4～7位校 各3名

8～10位校 各2名

(含1部昇格校)

- (4) 平成27年度の2部校で東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人。

(以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す。)

<男子>

・チーム 12校(平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校)

・チーム個人選手 18名(平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)

1～3位校 各2名 4～6位校 各1名

・予選通過個人選手 24名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で、平成27年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各12名)

<女子>

・チーム 8校(平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校)

・チーム個人選手 12名(平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)

1・2位校 各2名 3・4位校 各1名

・予選通過個人選手① 2名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の平成27年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)

・予選通過個人選手② 16名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、平成27年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名)

※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子

においては予選通過個人選手②)を5名(5枠)増やすこととする。

- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手(女子は予選通過個人選手①)の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。
- ※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手から大会申し込み最終締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。

4. 該当校及び参加人数

(1) チーム編成について

- ・ チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・ 1・2部校男女とも、1チームは最大6名(最小5名)とする。

(2) 該当校及び参加人数

- ・ 1部校男子チーム 12校(平成27年度の東・西インカレの出場を要する)
- ・ 1部校男子個人 42名(平成26年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)
 - 1. 日本体育大学 5名
 - 2. 順天堂大学 5名
 - 3. 仙台大学 5名
 - 4. 早稲田大学 4名
 - 5. 筑波大学 4名
 - 6. 鹿屋体育大学 4名
 - 7. 福岡大学 3名
 - 8. 日本大学 3名
 - 9. 駒澤大学 3名
 - 10. 国士舘大学 2名
 - 11. 静岡産業大学 2名
 - 12. 九州共立大学 2名(1部昇格校)
- ・ 1部校女子チーム 10校(平成27年度の東・西インカレの出場を要する)
- ・ 1部校女子個人 30名(平成26年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)
 - 1. 日本体育大学 4名
 - 2. 国士舘大学 4名
 - 3. 中京大学 4名
 - 4. 大阪体育大学 3名
 - 5. 筑波大学 3名
 - 6. 東京女子体育大学 3名
 - 7. 武庫川女子大学 3名
 - 8. 慶應義塾大学 2名
 - 9. 日本女子体育大学 2名
 - 10. 日本大学 2名(1部昇格校)
- ・ 2部校男子チーム 12校(平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校)
- ・ 2部校男子チーム個人選手 18名(平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より)
 - 東インカレ上位6校
 - 1. 慶應義塾大学 2名
 - 2. 東海大学 2名
 - 3. 国際武道大学 2名
 - 4. 明治大学 1名
 - 5. 青森大学 1名
 - 6. 北翔大学 1名
 - 西インカレ上位6校
 - 1. 新潟経営大学 2名
 - 2. 中京大学 2名
 - 3. 東海大学九州 2名
 - 4. 大阪体育大学 1名
 - 5. 天理大学 1名
 - 6. 富山大学 1名

- ・ 2部男子予選通過個人選手 24名（本大会チーム出場大学以外の大学所属選手より）

東インカレ上位12名 1. 松長 大祐 7. 田口 真樹 2. 河村 貴帆 8. 山口 雄太 3. 善永 徹 9. 村野井 清 4. 佐久間湧雅 10. 土居 健人 5. 高橋 大地 11. 水本 勝也 6. 松永 直樹 12. 大江 彰	西インカレ上位12名 1. 上田 良浩 7. 大関 元治 2. 福原 夢 8. 芳之内智朗 3. 石井 真人 9. 中村 圭伸 4. 涌井 栄祐 10. 牧内亮太郎 5. 西川 晃弘 11. 鈴木 颯太 6. 和藤 哲史 12. 上平 健太
---	--

- ・ 2部校女子チーム 8校（平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権上位4校）
- ・ 2部校女子チーム個人選手 11名（平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より）

東インカレ上位4校 1. 駒澤大学 2名 2. 東海大学 2名 3. 順天堂大学 （個人枠1名返上） 4. 仙台大学 1名	西インカレ上位4校 1. 静岡産業大学 2名 2. 九州共立大学 2名 3. 福岡大学 1名 4. 至学館大学 1名
--	--

- ・ 2部校女子予選通過個人選手① 3名（東・西インカレ個人総合選手権得点上位3名※）

1. 近藤 聖莉	2. 坂崎 凜
3. 坂本 千晶	

- ・ 2部校女子予選通過個人選手② 16名（東・西 各8名）

東インカレ上位8名 1. 網中 萌華 2. 嶋田 笑子 3. 石井 ひな子 4. 工藤 未央 5. 小林 朝香 6. 長沼 園佳 7. 宮田 千嘉 8. 丸橋 美結	西インカレ上位8名 1. 長谷野 まゆ 2. 宮崎 涼寧 3. 奥迫 真子 4. 寺田 葉月 5. 中條 加奈子 6. 森田 栞帆 7. 山口 こはる 8. 佐野 桃果
--	--

5. 個人総合選手権及び種目別選手権について

- (1) 個人総合選手権には、1・2部校男女とも個人総合選手権予選における個人総合得点の上位より男子1部校36名、2部校36名、女子1部校30名、2部校24名が出場できる。
- (2) 通過者会議において欠場の申し出があった場合、次点の選手を順次繰り上げて出場選手とする。これ以下の選手の上位2名をリザーブ選手とする。出場選手の欠場の最終申し出は当日の朝までとし、欠場の申し出があった場合はリザーブ選手を順次繰り上げるものとする（リザーブ選手は欠場した選手の組に入る）。

- (3) 個人総合選手権は、種目別選手権を兼ねる。尚、個人総合選手権出場者以外で男女とも個人総合選手権予選における各種目の上位8位以内の選手は、該当種目のみ種目別選手権の出場資格を有する。種目別選手権のリザーブ選手はつけないこととする。
- (4) 追加コーチID申請は通過者会議で行う。

6. 補欠について

- (1) 各チームの補欠は2名までとする。但し、チーム個人選手が補欠を兼ねてもよい。
- (2) 2部校の予選通過個人選手についての補欠は認めない。

7. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、書面で8月18日(火)16時までに受付に提出し、その後の変更は監督会議で申し出ること。但し、競技2日目に出場する選手が1日目の本会場練習、またはサブ会場練習時に怪我をして出場不能となった場合、大会本部への申請により監督会議終了後も変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場資格を有する選手は、予めID申請を行ったチーム5～6名、及び補欠2名の計5～8名であり、その他の選手との変更は認めない(補欠を兼ねたチーム個人選手は、チーム出場資格を有する)。
- (3) 男女1・2部校のチーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。変更の可能性のある選手は保険申請を行うこと。

8. 競技方法について

(1) 適用規則

- ・F I G競技規則に準ずる。

<男子>

2013年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

<女子>

2013年版採点規則(競技I)及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) 順位の決定

- ・団体総合選手権：各種目上位5名の得点の総合点で競う。
※女子跳馬は1本の演技とする。
- ・団体種目別選手権：各種目上位5名の得点で競う。
- ・個人総合選手権兼種目別選手権：全種目の総合点で個人総合選手権、各種目の得点で種目別選手権を競う。男子跳馬は2回の演技のうち、1本目を個人総合、2本の平均点を種目別の得点とする。
※ 0点は棄権ではなく得点として扱う。
※ 新技申請については、大会1週間前までに所定の用紙にて提出すること。ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

(3) 班編成

- ・1部校：平成26年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。
- ・2部校：平成27年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績により決定する。

(4) 開始種目

- ・団体総合選手権は、大会本部の抽選（1部校は平成26年度役員総会での抽選）により決定する。
- ・個人総合選手権及び種目別選手権は、個人総合選手権予選の成績により班編成を行う。個人総合選手権予選通過1位の選手が最終種目の最終演技者になるように班編成をする。なお、演技順は繰り上がりに統一する。

(5) 器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する（詳細は競技部報に記載する）。

9. 表彰

<1部校>

- | | |
|----------------|---|
| (1) 団体総合選手権の部 | 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯
女子優勝校・・・高松宮妃記念杯
優勝旗、優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 団体種目別選手権の部 | 賞状1位 |
| (3) 個人総合選手権の部 | 盾1～3位、賞状1～8位 |
| (4) 種目別選手権の部 | 賞状1～8位 |

<2部校>

- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 団体種目別選手権の部 | 賞状1位 |
| (3) 個人総合選手権の部 | 盾1～3位、賞状1～8位 |
| (4) 種目別選手権の部 | 賞状1～8位 |

※ 1・2部校とも、同点は同順位として表彰する。

10. 帯同審判員派遣について

- (1) 本大会にチーム参加する大学には下記の帯同審判員を派遣しなければならない

<男子>

- 1部校昨年度全日本インカレ1～6位・・・2名（1名以上のD審判有資格者）
7位～1部昇格校、2部校・・・・・・・1名

<女子>

- 1部校並びに2部校東西インカレ上位各3校・・・・1名（1種審判有資格者の審判員）

※その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。また保険料について、派遣する人数分の費用（1名につき900円）を支払うこと。

- (2) 学生は帯同審判員として派遣することは出来ない。ただし、審判員が不足した場合は、本部から学生の審判員を依頼することがある。
- (3) 審判員を派遣できない大学は40,900円（保険料900円込み）をもって大会本部に依頼すること。
- (4) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (5) 審判員は、1・2部校とも審判実務を行わなければならない。

- (6) 各大学指導者（部長、監督、コーチ）を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (7) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

1 1. 補助役員について

- (1) 男女共、本大会に参加する1部校は2名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,900円（保険料900円込み）をもって大会本部に依頼すること。

1 2. 部別昇格について

男女とも1部最下位1校が降格し、2部最上位1校が昇格する。
また、2部2位校の得点が1部の男子11位・女子9位の得点を上回った場合、これを入れ替える。同点による部別昇格の決定（序列）については『同点順位について』を適用する。

1 3. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。
また部長、監督、主務は競技中の競技区域(部報参照)に入ることは出来ない。尚、音楽係のID保持者は音楽席のみで活動出来る。
個人で編成される班（個人総合選手権予選、個人総合・種目別選手権）でのコーチの人数は、各種目（組）につき、一大学4名以上は2名のコーチ、3名以下は1名のコーチとする。ただし、女子の一大学3名以下の組に限り、段違い平行棒コーチを一名追加できるものとする。
※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。
- (2) トレーナー申請を希望する大学は所定の申請書を、本大会申し込み1次締め切りまでに提出すること。
なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。
※ トレーナーの申請人数は男女それぞれ各1名までとする。
※ メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。
- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。また、iPodなどのポータブルオーディオプレーヤーを使用する場合は、各大学専用のスピーカーを用意すること。
- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。参加した大学のみ18日の会場練習を出来るものとする。参加できない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。

- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。
- (6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影許可を必要とする。撮影を希望する大学は、所定の申請書を大会申し込み1次締め切りまでに提出すること。

14. 参加申し込みについて

- (1) 参加費（予定）

1チーム	60,000円
個人（1名につき）	12,000円
保険料（選手及び補欠、補助役員、帯同審判員1名につき）	900円
帯同審判委員依頼費（1名につき）	40,900円
補助役員依頼費（1名につき）	15,900円

- (2) HP上にある所定の用紙に必要事項を記入の上、大会本部に必ず郵送で申し込むこと。

- (3) 締め切り期日

1次締め切り（ID申請書以外）・・・・・・・・・・7月14日（火）18時必着
 最終締め切り（ID申請書）・・・・・・・・・・7月21日（火）18時必着
 大会日程（案）掲載日・・・・・・・・・・7月上旬予定
 HP 部報掲載予定日・・・・・・・・・・7月28日（火）

※ プログラム作成等の準備がある為、締切日を厳守すること。

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

- (4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名(男女別)で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

- (5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167060

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：長谷川 俊平

- (6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しない。

- (7) 申し込み・問い合わせ先

〒150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1（公財）日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第69回体操競技全日本インカレ大会宛

TEL 070-5373-6333（本部）

070-5070-6333（競技部長）

FAX 03-3481-2344

E-mail gymgakurenn@yahoo.co.jp

HP <http://gymgakurenn.noor.jp>

担当者（男子）小林 慎太郎（女子）村松 知香

同点順位について

①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点と同順位として表彰する。
------------------------------	----------------

②通過に関する順位付けについて

団 体 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 ・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） ・ 最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。
個 人 総 合 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。
種 目 別 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ その大会における個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。